

LGD9100-T3A1
N0220-010320

品番 LGD9100 LGD9101 LGD9102

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」（1 ページ）を必ずお読みください。この取扱説明書は大切に保管してください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や
損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で
説明しています。（下記は図記号の一例です。）



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある
内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が
発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

- 異常を感じた場合や、ランプを交換しても
点灯しない場合は、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店
または別紙お客様相談窓口にご相談ください。



分解禁止

- 器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれ
があります。



必ず守る

- 照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具
などの可燃物が近づかないように注意する
守らないと、照射物の変色、
火災のおそれがあります。



照射物近接限度 10cm

（ドア・家具・布などの可燃物）



- ランプは適合のものを使用する
間違った種類、ワット数のランプを使用すると、
火災のおそれがあります。



禁止

- アルカリ系洗剤は使用しない
強度低下により破損し、落下するおそれ
があります。



注意

- 照明器具には寿命があります。
設置して10年経つと、外観に異常が
なくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。



禁止

- 点検せずに長期間使い続けるとまれに
火災、感電、落下などに至る場合があります。
◎1年に1回は別紙「安全チェックシート」に
基づき自主点検してください。



必ず守る

- ランプ交換、お手入れの際は電源を切る
通電状態で行うと感電の原因となる
ことがあります。

- 器具の取り外しは販売店、工事店に
依頼する
器具の取り外しには資格が必要です。

- 温度の高くなるものを器具の真下に
置かない
火災の原因となることがあります。

- ◎器具の真下にストーブなどを置かないで
ください。

- LEDを直視しない
目の痛みの原因となることがあります。

- 点灯中や消灯直後はランプやその周辺に
さわらない

- やけどの原因となることがあります。

- ◎お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプや
その周辺が冷めてから行ってください。



接触禁止

■施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客さまにお渡しください。
■施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

施工説明

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

■天井

●次のような場所には取り付けない

火災、落下によるけが、天井材破損のおそれがあります。

- ・強度のない薄い天井面
- ・ロックウールなどのやわらかい天井面
- ・傾斜角55度を超える天井面



禁止

- ◎この器具は水平天井面埋め込み専用です。
- ◎石膏ボード (9mm以上) に取り付けできます。

●特殊な断熱・遮音・防音施工された天井には取り付けない

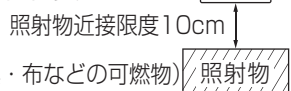
過熱して火災のおそれがあります。

日本照明工業会SB・SGI・SG形適合品
マット敷工法 ブローイング工法



●照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように考慮して取り付ける

守らないと、照射物の変色、火災のおそれがあります。



必ず守る

●本体を埋込穴に確実に押し込む

押し込みが不十分な場合、ガタツキ、器具落下してけがのおそれがあります。



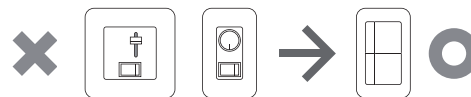
必ず守る

■壁スイッチ

●適合するスイッチ、ライトコントロールを使用する

指定以外のスイッチ、ライトコントロールと組み合わせると、火災のおそれがあります。

【調光器非対応タイプ】のランプを使用の場合
調光機能が付いた壁スイッチの場合は、
入切用 (ON/OFF) スwitchに交換する。



◎調光器の取り外しが必要です。

【調光器対応タイプ】のランプを使用の場合
CB1に適合した当社製ライトコントロールを
使用する。

■その他

●器具の取り付けは、説明書に従い確実に行う

取り付けに不備があると火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

●電源線は端子台カバーの上から端子台の差込穴の奥まで確実に差し込む

端子台カバー外れや差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

●送り総容量は4A以下にする (照明器具専用)

火災のおそれがあります。



禁止

●屋内配線の電源、ケーブルなどは器具に接触させない

火災のおそれがあります。

注意



水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



禁止

●温度の高くなるものの上に取り付けない

火災の原因となることがあります。

◎レンジなど温度の高くなるものの上に

取り付けないでください。



必ず守る

●器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する

けがのおそれがあります。

施工前のご確認事項

- 壁スイッチを設けてください。点灯消灯させたり、お手入れの際に電源を切ることができます。
- ON/OFFで使用する場合
当社製壁スイッチ品番WT5001、WT5002、WT50519、WT50529使用の場合は、スイッチ1個につき16台まで使用可能です。上記以外のスイッチは8台まででご使用ください。
- ほたるスイッチと接続する場合は1回路につきスイッチ3個まででご使用ください。
(4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。)
- かつてにスイッチなど高機能スイッチを使用する場合は、起動方式CE1、CB1に適合した当社製スイッチを使用し、接続台数、接続方法はスイッチの取扱説明書に従ってください。
- 照明器具の送り総容量(照明器具専用)は4A以下です。ご使用されるスイッチなどにより総容量が制限される場合があります。スイッチなど、最大負荷および、接続可能台数をご確認いただき、その範囲内でご使用ください。

【調光器対応タイプのランプをライトコントロールと接続して使用する場合】

- 起動方式CB1に適合の当社製ライトコントロールをご使用ください。
- 接続台数、接続方法についてはランプ、ライトコントロールの取扱説明書に従ってください。
- 送り配線する場合、ライトコントロールの最大負荷および、接続可能台数まででご使用ください。

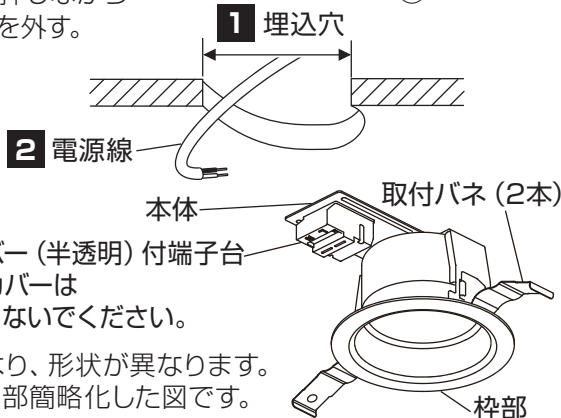
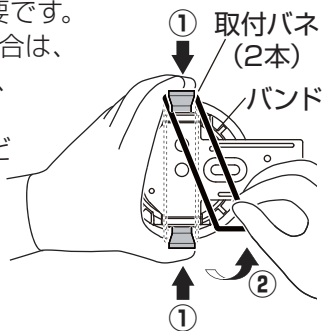
各部のなまえと取り付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください

取り付け前のご注意

- ・埋込高さは70mm以上必要です。
- ・表面に凹凸のある天井の場合は、気密性が損なわれないよう、平面に仕上げてください。
- ・器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。
- ・バンドを外してください。

- ①取付バネ(2本)を
右図のように矢印の
方向へ押しながら
- ②バンドを外す。



1 天井に埋込穴をあける

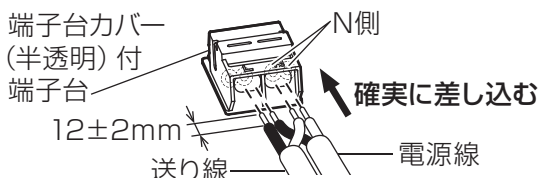
- ・下記寸法の穴をあける

天井の厚さ	埋込穴寸法
5mm以上 25mm以下	$\phi 100 \pm 1\text{mm}$

※指定寸法でない場合、すき間が空き、気密性が保たれないおそれがあります。精度よく穴をあけるために、ダウンライトカッターの使用をおすすめします。

2 端子台に電源線を接続する

- ・電源線は端子台カバーの上から端子台の差込穴の奥まで確実に差し込む。
- ・適合電線：VVF $\phi 1.6$ 、 $\phi 2.0$ 単線



2 端子台に電源線を接続する(つづき)

電源線の取り外し方は、マイナスドライバーなどで解除ボタンを押しながら電源線を引き抜く。

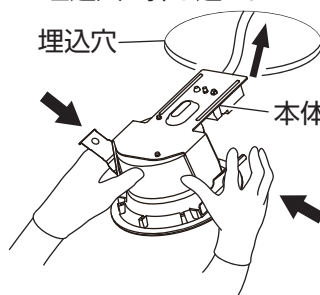


3 本体を埋込穴に取り付ける

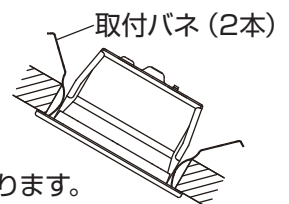
- 取付バネ(2本)を押さえながら、端子台側から埋込穴へ押し込む。

注意

石膏ボードから器具を取り外す場合は、天井材の破損にご注意ください。枠部をゆっくり引き下げ、取付バネを押し曲げながら取り外してください。取り外しに不備があると、天井材破損することがあります。

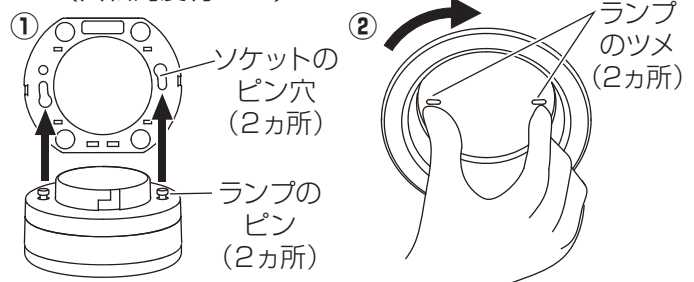


- 傾斜天井に取り付ける場合は、傾斜方向の上下に取付バネがくるように取り付けてください。右図以外の方向で取り付けした場合、器具ズレ、ガタツキの原因となることがあります。



4 ソケットにランプを取り付ける

- ① ソケットのピン穴にランプのピンを入れる。
- ② ランプのツメに指を引っ掛け、カチッと音がするまで矢印方向に回して、確実に取り付ける。
(回転角度約15°)



注意

ランプを取り付ける場合、ランプから手を離さないでください。落下によりケガのおそれがあります。

ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- ランプの明るさが低下するとランプの寿命です。ランプを交換してください。
- 交換ランプは、取扱説明書の仕様でチェックしたランプ品番、取り外したランプ背面の品番表示を確認ください。
- 交換用ランプはパナソニック製ランプを推奨します。同じ種類、ワット数のランプでおすすめ以外のものを使用された場合、短寿命・故障の原因となることがあります。また、保証の対象外となります。
- ご使用以外のランプに交換される場合は、適合ランブー一覧表（別紙）を確認ください。
ご使用のスイッチ、ライトコントロールとの適合も合わせて必ず確認ください。

ランプの取り外し方法

- ランプのツメに指を引っ掛け、カチッと音がするまで矢印方向に回す。（回転角度約15°）

注意 ランプを取り外す場合、ランプから手を離さないでください。
落下によりケガのおそれがあります。

※ランプ取り付け方は、「各部のなまえと取り付けかた」3ページ **4** をご覧ください。



お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- ランプはパラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- ランプを交換しても点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店、または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。

【調光器対応タイプのランプ使用時の留意点】

- ランプ（調光対応）の取扱説明書、ライトコントロールの取扱説明書をご確認ください。
- 調光状態でドライヤー、エアコン、電子レンジ、瞬間暖房便座などをお使いになると、電圧低下などにより、わずかに明るさが変化することがあります。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

仕様

☒ 本体、ランプの品番をご確認いただき、品番にチェックしてください

本体品番	枠色	使用電圧	周波数	消費電力	入力電流	口金
☐ LGD9100	ホワイトつや消し	AC100V	50/60Hz共用	※ 8.4W	※ 0.13A	GX53-1
☐ LGD9101	ブラックつや消し					
☐ LGD9102	透明つや消し					

※消費電力、入力電流は組み合わせ可能な最大定格のランプを使用した場合です。

ランプ品番（別売）	
☐ LLD2000 (L・V・N) (CE1・CB1)	※お買い上げ品番がわかるように ☐ にチェックを () 内に○をつけてください。
☐ LLD2020 (L・V・N) (CE1・CB1)	
☐ LLD4000 (L・V・N) (CE1・CB1)	
☐ LLD3020 (L・V・N) (CE1・CB1)	
☐ LLD2000 M (L・V・N) (CE1・CB1)	
☐ LLD2020 M (L・V・N) (CE1・CB1)	
☐ LLD4000 M (L・V・N) (CE1・CB1)	
☐ LLD3020 M (L・V・N) (CE1・CB1)	



- 器具本体にはランプの種類まで表示されておられません。ランプ背面を確認し、品番にチェックしてください。
- 器具本体に適合するランプは適合ランブー一覧表（別紙）でご確認ください。
- ランプの取扱説明書には保証書が付いております。大切に保管してください。

パナソニック株式会社 ライティング事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真1048 © Panasonic Corporation 2020